

環境経営レポート

2020年版

対象期間

2020年1月～2020年12月

作成日： 2021年2月10日

改訂日： 2021年6月1日

有限会社 松村組

目次

1. 環境経営方針	1
☐ 環境理念 ☐ 基本方針	
2. 事業の概要	2
☐ 事業内容 ☐ 許可内容 ☐ 施設状況	
☐ 保有車両	
3. 事業の規模	3
☐ 事業規模 ☐ 収集運搬量	
4. 実施体制	4
☐ 認証・登録範囲 ☐ 組織図 ☐ 役割	
5. 環境経営目標とその実施・達成状況	6
☐ 環境経営目標 ☐ 実施・達成状況	
6. 環境経営計画	8
☐ 環境経営計画、取組結果、評価、次年度取組内容	
7. 代表者による全体評価と見直し	10
8. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無	10

1. 環境経営方針

環境理念

資源循環型社会を進めている自治体の受託業務を事業の主体としている有限会社松村組は、一般廃棄物を主体とする収集運搬業務を通して常に環境問題を考え、環境問題に対する問題意識を持ち、環境負荷の低減化の取組みを最重要課題と考え、社員一同、一丸となって、社会と自然環境が調和し、共存できる循環型社会に向けて行動します。

そのための事業者であり続けるために環境経営方針を定め、環境経営目標の達成のために環境負荷削減への取組に継続的改善を実行していきます。

基本方針

1. エコアクション21環境経営システム構築に取組み、その実施運営において、環境関連法令・条例等を厳守するとともに、地域・業界・顧客の環境保全に関する要求事項に配慮し、環境活動の持続的な改善を進めていきます。
2. 環境経営目標及び環境経営計画として下記を重点項目に設定し、必要に応じてその重点項目を見直し、環境経営方針に適合した環境行動を実施します。
 - 1) 電力、燃料等の使用量を削減し、二酸化炭素排出量軽減のため、省エネルギー化を推進する。
 - 2) 適正な上水使用を実践し、総排水量の削減を推進する。
 - 3) 廃棄物を徹底的に分別し、古紙及びその他のリサイクルを推進する。
3. 廃棄物収集運搬業務を通じ、資源循環型社会構築に貢献するため、エコアクション21環境経営の実施状況を内外に報告します。
4. 環境負荷削減への取組として、地域のために貢献します。
5. 有限会社松村組全社員にこの環境経営方針を周知します。

2010年 7月20日 制定

2020年 8月 1日 改訂

有限会社 松村組
代表取締役 松村 竜二

2. 事業の概要

事業内容

事業所名	有限会社 松村組	代表者	代表取締役 松村 竜二
所在地	〒183-0036 東京都府中市日新町5丁目3番地の3		
設立	昭和32年3月	資本金	500万円
従業員数	62人（役員2人、正社員59人、パート・アルバイト1人）		
敷地面積	241㎡（本社事務所 及び 駐車場）		
事業内容	一般廃棄物（家庭ごみ）収集運搬業（府中市・立川市委託業務） 浄化槽清掃・し尿収集運搬業（府中市委託業務） 事業系一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、家電リサイクル対象品収集運搬業 その他、上記各号に付帯する一切の業務		
料金	廃棄物の収集運搬料金及び処理料金は、品目・数量等からの見積りによる。		
所属	府中廃棄物処理事業協同組合		
環境管理責任者	比留間 哲也	TEL	042-362-6700
E-mail	2231182001@jcom.home.ne.jp	FAX	042-364-2002

許可内容

一般廃棄物収集運搬業許可（府中市）

許可番号	31府生ご許可第6号	有効期限	令和元年8月20日～令和3年8月19日
区分	一般廃棄物収集・運搬業（保管・積替え（条件付）を含む）		
種類	事業系一般廃棄物（可燃ごみ）、し尿、浄化槽汚泥、特定家庭用機器廃棄物		

産業廃棄物収集運搬業許可（東京都）

許可番号	第13-10-044601号	有効期限	平成29年2月14日～令和4年2月13日
区分	収集運搬（積替え保管を含む）		
種類	廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 （廃プラスチック類、金属くずに限り積替え保管可）		
積替え保管施設	面積 40.8㎡、 最大保管高さ 1.0m、 保管上限量 3.50㎡		

浄化槽清掃業許可（府中市）

許可番号	2府生ご許可第6号	有効期限	令和2年11月10日～令和4年11月9日
------	-----------	------	----------------------

一般区域貨物自動車運送業免許（関東運輸局）

許可番号	関自貨2第641号	取得年月日	昭和60年4月25日
------	-----------	-------	------------

古物商免許（東京都公安委員会）

施設状況

車庫 及び 産業廃棄物収集運搬（積替え保管）施設

所在地	東京都府中市日新町5丁目1番地の1,2
敷地面積	904㎡（積替え保管施設 40.8㎡を含む）

保有車両

全車「自動車Nox・PM法」対策済み。

種別	車両総重量	台数	種別	車両総重量	台数
小型貨物自動車	1.7 t 超～2.5 t 以下	1台	普通貨物自動車	2.5 t 超～3.5 t 以下	0台
	2.5 t 超～3.5 t 以下	4台		3.5 t 超～8.0 t 未満	31台
	3.5 t 超	3台		8.0 t 以上	2台
軽貨物自動車		1台	合計		42台

3. 事業の規模

事業規模

項目	単位	2018年	2019年	2020年
売上高	百万円	430	400	400
従業員数	人	58	63	62
敷地面積	m ²	1,145	1,145	1,145

収集運搬量

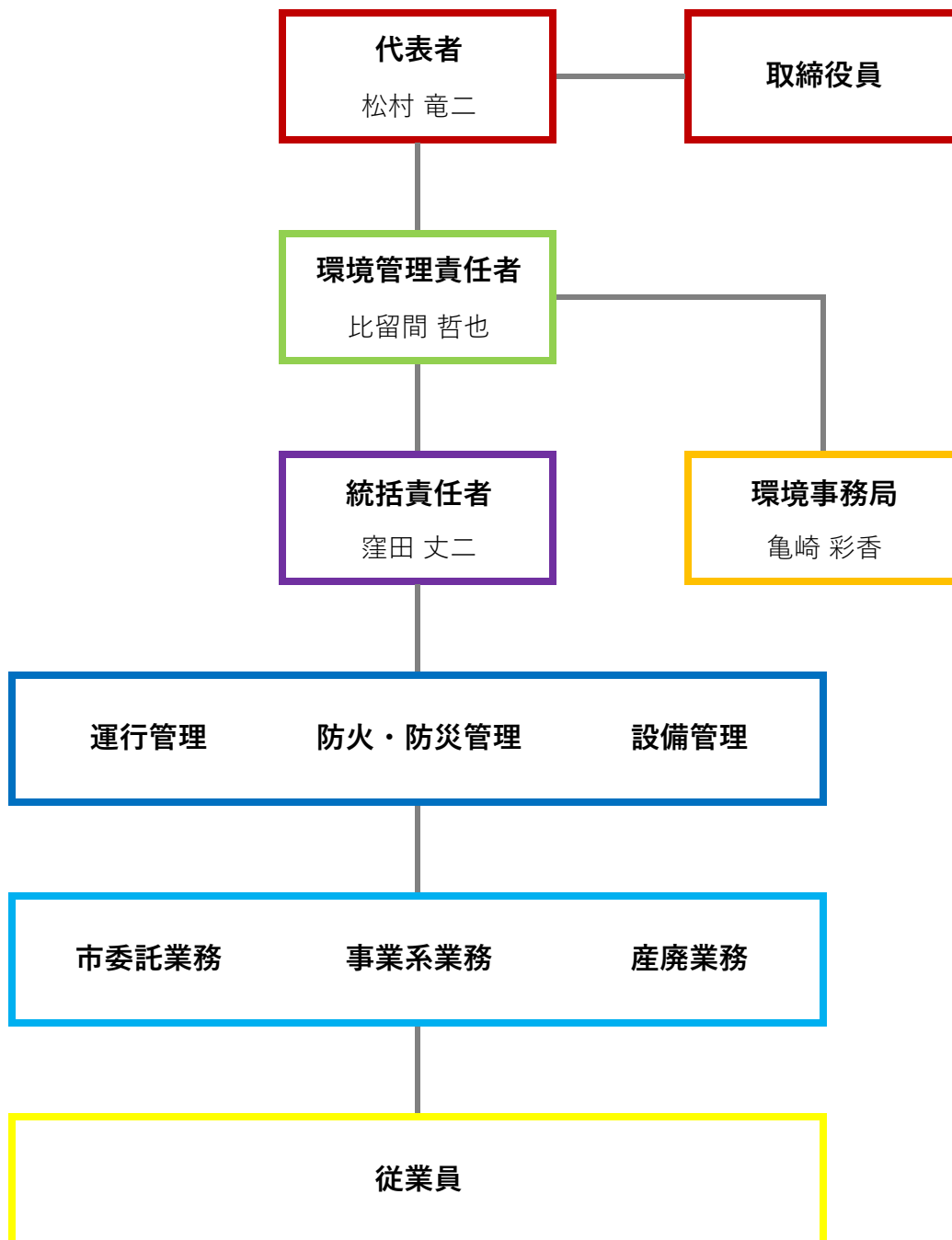
	種類	単位	2018年	2019年	2020年
一般廃棄物	家庭系可燃物	t			7,402.83
	家庭系不燃物	t			2,760.47
	事業系可燃物	t			264.32
	事業系不燃物	t			37.85
	計	t	9,737.8	9,679.5	10,465.5
産業廃棄物	廃プラスチック類	t	9.87	7.70	8.63
	木くず	t	1.85	0.71	1.35
	金属くず	t	3.65	3.33	4.05
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	t	0.95	0.24	0.31
	がれき類	t	0.00	0.00	0.00
	計	t	16.3	12.0	14.3
資源物	家庭系	t			2,582.3
	事業系	t			70.1
	計	t	2,576.1	2,535.4	2,652.3
	し尿	kl	334.8	326.3	265.0

4. 実施体制

認証・登録範囲

全事業所 及び 全事業内容を認証・登録の範囲とする。

組織図



2010年 7月20日 制定
2020年 8月 1日 改訂

役割

役職	氏名	職務
代表者	松村 竜二	・環境管理責任者の任命をする ・環境方針の策定、見直しをする ・環境経営資源の準備をする ・環境目標及び環境活動計画の承認をする ・代表者による全体評価と見直しをする
取締役員	松村 竜二（代表取締役） 名執 哲也（取締役本部長）	・役員会議等で全体の見直しを行う
環境管理 責任者	比留間 哲也	・環境経営システムの確立、推進をする ・環境目標及び環境活動計画の策定をする ・環境活動計画に関する実績の把握と代表者への報告をする
環境事務局	亀崎 彩香	・データを集計し、文書記録類を作成する ・外部、内部からの苦情等に対応し、記録を取り、環境管理責任者へ報告する ・事務用品等の使用削減を奨励、実施する
統括責任者	窪田 丈二	・環境管理責任者を補佐する ・各責任者と情報を共有し、社内環境を良好に保つ
運行管理	窪田 丈二 江草 秀昭	・アイドリングストップ、エコドライブを奨励、実施する ・車両の整備、日常点検、運行記録をチェックする
防火・防災 管理	門田 輝久	・緊急事態を想定した訓練を実施する ・防火・防災設備を管理する
設備管理	牧嶋 孝典	・車庫及び休憩所の整理整頓を励行、実施する
市委託業務	比留間 哲也（府中班長） 中村 怜史（立川班長）	・省資源、省エネ、節水を奨励、実施する ・環境目標達成に向け、取組のチェック及び必要な是正処置、改善を行う
事業系業務	熊沢 敦 佐々木 位佐雄	・公害防止、緊急事態への予防処置を行う
産廃業務	名執 哲也	
従業員		・省資源、省エネ、節水に努める ・環境への取組に関する教育を受ける ・緊急事態を想定した訓練を受ける

2010年 7月20日 制定

2020年 8月 1日 改訂

5. 環境経営目標とその実施・達成状況

環境経営目標

取組項目			単位	基準値	目標値 (前年比0.5%削減)			
				2019年	2020年	2021年	2022年	
二酸化炭素総排出量の削減			kg-CO ₂	219,663	218,565	217,472	216,385	
電力使用量の削減 ※CO ₂ 排出量は東京電力(株)の2018年度排出係数（0.455kg-CO ₂ /kWh）にて算出。			kWh	12,086	12,025	11,965	11,905	
			kg-CO ₂	5,499	5,471	5,444	5,417	
燃料 使用 量の 削減	事務所・ 休憩所	L P ガス	kg	－	－	－	－	
		灯油	ℓ	268	267	266	265	
	車 両 燃 料	C N G (天然ガス)	m ³	18,266	18,174	18,083	17,993	
		ガソリン	ℓ	3,759	3,740	3,721	3,702	
		軽油	ℓ	63,352	63,035	62,720	62,406	
			kg-CO ₂	214,164	213,093	212,028	210,968	
	水使用量の削減			m ³	568	566	563	560
自社排出廃棄物量の削減			kg	260	260	260	260	
コピー用紙使用量の削減			枚	40,437	40,235	40,034	39,834	
収集運搬の 燃費向上 (前年比0.5% 増加)	C N G (天然ガス)		km/m ³	3.38	3.40	3.42	3.44	
	ガソリン		km/ℓ	5.13	5.15	5.18	5.21	
	軽油		km/ℓ	4.40	4.42	4.44	4.46	

※「L P ガス」は現在使用していない。また、「自社排出廃棄物量の削減」については現状維持を目標とする。

実施・達成状況

取組項目			単位	目標値	実績値	達成
				2020年	2020年	
二酸化炭素総排出量の削減			kg-CO ₂	218,565	233,722	×
電力使用量の削減 ※CO ₂ 排出量は東京電力(株)の2018年度排出係数（0.455kg-CO ₂ /kWh）にて算出。			kWh	12,025	12,214	×
			kg-CO ₂	5,471	5,557	×
燃料 使用 量の 削減	事務所・ 休憩所	L P ガス	kg	—	—	—
		灯油	ℓ	267	135	○
	車 両 燃 料	C N G (天然ガス)	m ³	18,174	14,449	○
		ガソリン	ℓ	3,740	3,976	×
		軽油	ℓ	63,035	72,634	×
			kg-CO ₂	213,093	228,165	×
	水使用量の削減			m ³	566	641
自社排出廃棄物量の削減			kg	260	260	○
コピー用紙使用量の削減			枚	40,235	42,300	×
収集運搬の 燃費向上 (前年比0.5% 増加)	C N G (天然ガス)	km/m ³	3.40	3.44	○	
	ガソリン	km/ℓ	5.15	4.91	×	
	軽油	km/ℓ	4.42	4.24	×	

6. 環境経営計画

環境経営計画及び取組結果と環境管理責任者の評価、次年度取組内容

電力使用量の削減

今年度取組内容	
照明	不用な電気の消灯 ・ 昼休みの事務所内 ・ トイレの電気の消し忘れ 退出時の電源OFF
冷房	設定温度の調節 ・ 事務所 25～28℃、休憩所 22～24℃ フィルターの清掃 退出時の電源OFF
OA機器	省エネモード設定 退社時の電源OFF 待機電力ストッパーの取入れ
取組結果と評価	昨年度より使用量が少し増えてしまった。来年度も0.5%削減を目指し、進めていく。
次年度取組内容	追加取組なし

燃料使用量の削減、収集運搬の燃費向上

今年度取組内容	
LPガス	なし
灯油	暖房 ・ 過剰使用しない ・ 退出時の消火
CNG ガソリン 軽油	車両 ・ アイドリングストップの実施 ・ 空ぶかしをしない ・ 急発進、急加速をしない ・ エコドライブの励行 ・ 収集順路の短縮を随時検討する
取組結果と評価	今年度も車両の増減があり、軽油が増え、CNGが減っている。ガソリンも使用量が増えている。来年度も0.5%削減を目指し、進めていく。
次年度取組内容	追加取組なし

水使用量の削減

今年度取組内容	
事務所 休憩所	節水コマの設置 水の出しすぎ、出しっ放しの禁止
洗車	ストッパーの取付け 自家用車の洗車禁止 バケツ洗車の取入れ
洗濯機	数人分まとめて使用する すすぎ時間の短縮
取組結果と評価	昨年度より使用量が増えている。来年度も0.5%削減を目指し、進めていく。
次年度取組内容	追加取組なし

自社排出廃棄物量の削減

今年度取組内容	
事務所	ごみは分別し、資源物はリサイクルにまわす ミスコピー等の裏紙使用 使用済み切手の回収に協力する 整理整頓を心掛ける 使い捨て製品の使用を抑える
休憩所 車庫	ごみは分別し、資源物はリサイクルにまわす 整理整頓を心掛ける
取組結果と評価	会社～車庫間の道路清掃、車庫の清掃及び整理整頓、休憩所の清掃実施（毎日）
次年度取組内容	追加取組なし

コピー用紙使用量削減

今年度取組内容	
事務所	社内資料などはなるべく両面コピーをする ミスコピーに気をつける 適正サイズでの印刷を心掛ける
取組結果と評価	来年度も0.5%削減を目指し、進めていく。
次年度取組内容	追加取組なし

7. 代表者による全体評価と見直し

実施日	2021年2月11日
出席者	松村社長、名執本部長、比留間班長（環境管理責任者） 以上3名
前回指示の達成状況評価、環境目標・環境活動計画の達成状況	
令和2年度については、新型コロナウイルス感染予防の一環として、企業努力による作業台数稼働率を上げ、従業員の退社時間を早める措置を実施した為、燃料の使用率が上昇してしまった。また、CNG車両のステーション整備が減少傾向に進んでいる現状を踏まえて、ディーゼル車への車両入れ替えを進めている。よって、軽油の使用が増えてしまった。実行委員を務めている市内の環境祭りや、他の講習会等も中止となり、具体的な活動も実施することが出来なかった。	
その他の環境経営システムの各要素	
上昇傾向にある処分費を抑える為の分別、有価物、リサイクル率の底上げを目指し、ウイルス感染予防の徹底、行政とのさらなる連携を図り、環境保全と公衆衛生に努めながら、環境経営システムを構築していきたい。 具体的には、災害協定などのマニュアル化など。	

8. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無

本レポート作成日現在、環境関連法規への違反行為、行政からの指導や勧告等は過去1年間ありません。

また、周辺住民からの環境に関する訴訟等は過去1年間ありません。